

公開実用 昭和53—66816



实用新案登録願

昭和51年11月8日

特許庁長官殿

1. 考案の名称 クミタテシキケンテクヨウ
組立式建築用ブロック

2. 考案者 実用新案登録出願人と同じ

3. 実用新案登録出願人

住所 カガワケンサカイデシヘヤシダチョウ
香川県坂出市林田町1960番地 パンチ

氏名 ヤマモトケンジ
山本 賢治 

電話 08774-7-0121番

4. 添付書類の目録

- | | |
|----------|----|
| (1) 明細書 | 1通 |
| (2) 図面 | 1通 |
| (3) 願書副本 | 1通 |

51 150230

万式
審

BEST AVAILABLE COPY

(1)

明細書

1. 考案の名称

組立式建築用ブロック

2. 実用新案登録請求の範囲

基礎材1の上にブロック2を組み立て、ブロック2の上辺を基礎材1に設けられた支持金具3、および固定用具4にて固定し、ブロック壁を形成するようにした組立式建築用ブロック。

3. 考案の詳細な説明

本考案は建築を容易にした組立式建築用ブロックに関するもので、基礎材1の上にブロック2を組み立て、ブロック2の上辺を基礎材1に設けられた支持金具3、および固定用具4にて固定し、ブロック壁を形成するようにした。

基礎材1にはブロック2を支持するための支持金具3が適当なる間隔に設けられている。また支持金具3の上端部にはネジが設けてあり、このネジにより後述の固定用具4を固定するようにした。基礎材1は地面に埋めるなどして適当に固定される。

53-66816

公開実用 昭和53-66816!

(2)

ブロック2には互いに組み合うように凹凸部を設け、基礎材上に組み立てる際のブロック同士の連結を確実にした。またブロック2には基礎材1に設けられた支持金具3が貫通するよう適当な位置に貫通孔を設けた。そして重量を軽減する目的で適当な形状の貫通部を設けた。

固定用具4は組み立てられたブロック壁の上辺を固定するためのもので、支持金具3が貫通するよう貫通孔が設けてあり、前述の支持金具3に設けてあるネジと共にブロック壁の上辺を固定する。

本考案によるときは、固定された基礎材1の上にブロック2を基礎材1にある支持金具3を貫通して組み立て、形成されたブロック壁の上辺を固定用具4と支持金具3にあるネジにて固定し、ブロック壁を建築するものであり、従来のブロックをセメント等により固定する方法に比べ特にセメント等を必要としないでブロック壁を組み立てるため、ブロック壁の建築工程をきわめて簡単にした上建築期間を短縮して確実

(3)

なブロック壁を建築しうる効果を有する。

以上本考案を一例について説明したが、無論本考案は本考案の精神を逸脱しない範囲で複数の設計の改変を施しうるものである。

4. 図面の簡単な説明

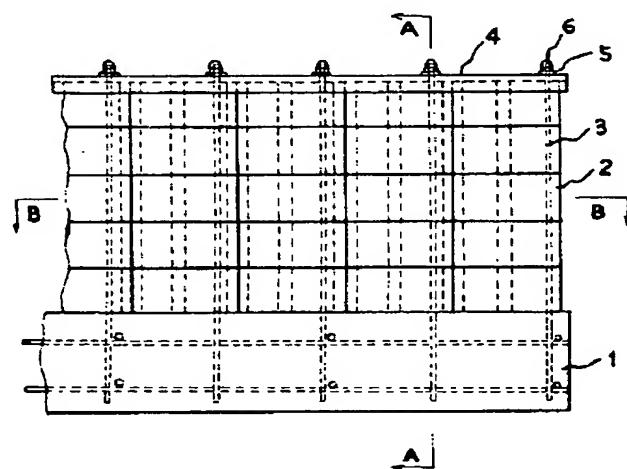
図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は正面図、第2図は第1図のA-A線における截断面図、第3図は第1図のB-B線における截断面図、第4図はブロックの斜面図を示す。

図面中、符号1-----基礎材、2-----ブロック、
3-----支持金具、4-----固定用具、5-----バッキン、6-----カバー。

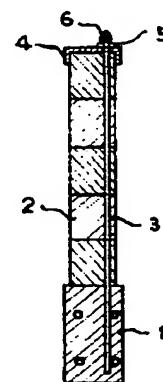
実用新案登録出願人 山本賢治

公開実用 昭和53-66816!

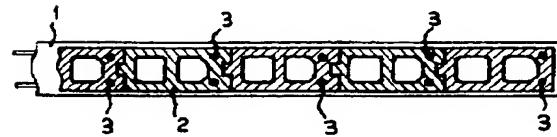
第1図



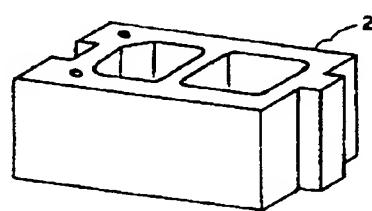
第2図



第3図



第4図



実用新案登録出願人 山本賢一